

令和6年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

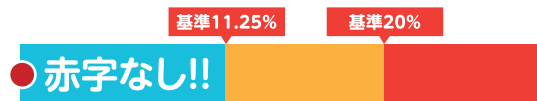
※佐世保市はすべての指標でクリアしています。

健全財政

財政悪化

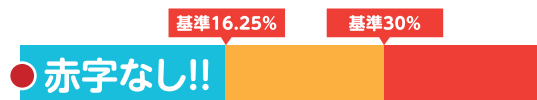
実質赤字比率

一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



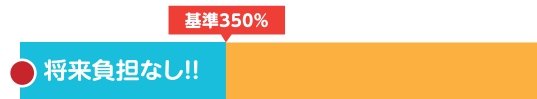
実質公債費比率

一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



将来負担比率

一般会計などが抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



資金不足比率

各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



健全 財政健全化団体 財政再生団体

財政運営の方針

「質の高い」財政運営

「自立した」財政運営

「信頼される」財政運営

財政規律(収支の均衡、将来負担の抑制、適正な受益者負担など)を守りながら、計画的、効率的な財政運営に努め、圏域の活性化を図りつつ、財政の健全性を維持します。

今後の財政運営

物価高騰といった取り巻く社会経済情勢の変化など、さらに厳しい状況になることも想定されることから、基金や公有財産の有効活用、ふるさと納税の増収策などの歳入確保策の実施、財源捻出のための改革改善、既存事業の見直し、予算配分の重点化など、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りながら、持続可能な行財政運営に取り組んでまいります。

令和6年度決算に基づく現状値	現状値	①目標値 ②,③中核市平均
①実質的な財源調整2基金(※1)の残高の標準財政規模(※2)に対する割合	11.7%	10%程度
②実質公債費比率(※3)	5.7%	5.3%
③経常収支比率(※4)	95.8%	93.5%

※1:正味の財源調整にあてることができる財政調整基金と減債基金の残高のことで、佐世保市の貯金を指すものです。

※2:地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すものです。なお、一般財源とは使いみちを特定されず、どのような経費にも使用することができる財源です。市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。

※3:地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標です。

※4:財政構造の弾力性(ゆとり)を判断するための指標。地方税・普通交付税などの使いみちを制限されない毎年収入される性質の収入(経常的な収入)に対する、人件費・公債費・扶助費など毎年支出される性質の支出(経常的な支出)の割合です。

佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。また市役所6階 行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。

お問い合わせ先

佐世保市 財務部 財政課

ホームページアドレス <http://www.city.sasebo.lg.jp/>

〒857-8585
佐世保市八幡町1番10号
☎0956-24-1111(内線2630~2633)

させぼさんちの家計簿

6年度決算のポイント

歳入は1,309.5億円(前年度1,336.1億円、26.6億円減)、歳出は1,274.7億円(同1,293.4億円、18.7億円減)となり、翌年度に繰り越すべき財源7.4億円を差し引いた実質収支額は27.4億円となりました。また、歳出決算規模は過去6番目の大きさとなりました。

主な事業

●学校給食費管理事業 (中学校第3学年(義務教育学校第9学年)の学校給食費の無償化)	1.1億円
●私立保育所等運営費など (第2子以降の保育料無償化)	1.7億円
●地域通貨発行事業	2.6億円
●黒島地区施設保全事業 (黒島地区複合施設新築工事)	4.1億円
など	

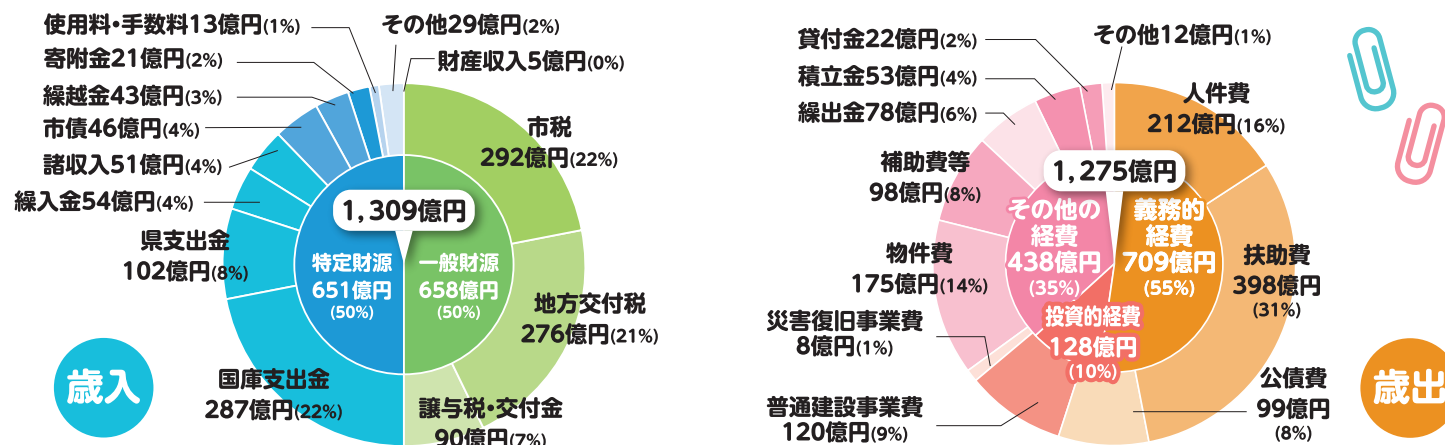
6年度のピックアップ

本市が持つ多様な資源を活用し、本市の可能性や魅力を最大限に活かし、未来を先取る取組に挑戦するための“選ばれるまちSASEBO”を創る「シティブランディング・プロジェクト」を始動させました。
人口が減少するなか、ポストコロナの新しい社会の実現を目指す施策展開として、「佐世保市DX戦略」に基づくポストコロナ(DX戦略)関連事業に係る様々な施策を実施するとともに、物価高騰に伴う市民生活や地域経済への影響が続いていることから、「物価克服に向けた追加策」につきましても、適時、適切に対策を講じました。

6年度を振り返って...

- 一般会計の実質収支は27.4億円の黒字となりました。(令和7年度当初予算における財源補てん繰入分の25億円以上)
- 特殊要素を除く財源調整2基金の実質的な残高(71.4億円)は目標としていた標準財政規模の10%程度(61.2億円)を維持できました。
- 市債残高は前年度と比較して48.9億円減少させることができました。
- 健全化判断比率は、いずれも早期健全化基準等を下回っており、「健全」段階でした。
- シティブランディング・プロジェクトをはじめ、第7次総合計画後期基本計画に掲げる施策を積極的に展開できました。

上記を踏まえ、財政の持続可能性を堅持しつつ、市政の発展や市民サービスの向上につながる堅調な行財政運営ができたものと考えています。



佐世保市財務部

やっとコロナが落ち着いたけど物価高の影響で食費、光熱費が昨年度より増えているね。一部、おじいちゃんおばあちゃんからの援助（国庫県費）もあるけど、今後考えると家計には大打撃だね。



生活に必要な食費、医療費、ローンの返済（義務的経費）が、全体の約5割もあるね。特に、医療費が家計を圧迫してるね。



ローンの返済がある中で、私への仕送りもあるから大変だね。



ローン残高が少し減ったね。



令和6年度佐世保市の決算

収入		
(5年度からの増減)		
市税	291億9,451万円	△6億4,284万円
地方交付税など	374億3,113万円	27億2,770万円
諸収入その他	111億7,750万円	△8億4,502万円
国庫県費	388億4,016万円	△14億2,006万円
市債	46億2,051万円	△14億1,559万円
繰入金	54億1,847万円	△6,137万円
繰越金	42億6,757万円	△9億9,930万円
収入合計	1,309億4,985万円	△26億5,648万円
内訳	一般財源	658億 520万円 20億7,353万円
	特定財源	651億4,465万円 △47億3,001万円
基金残高	214億5,240万円	3億2,504万円

支出		
(5年度からの増減)		
人件費	181億2,171万円	4億7,465万円
扶助費	375億5,961万円	48億7,222万円
物件費・補助費等	224億6,283万円	3億7,865万円
維持補修費	5億1,957万円	△1億8,134万円
教育費	120億5,140万円	3億2,025万円
新型コロナウイルス対策	0万円	△58億7,550万円
繰出金	77億6,493万円	1億9,991万円
公債費	98億8,941万円	△2億7,392万円
普建・災害	110億8,017万円	△16億5,679万円
貸付・投資出資	26億8,105万円	△5,477万円
積立金	53億4,323万円	△6,821万円
支出合計	1,274億7,391万円	△18億6,485万円
市債残高	866億9,421万円	△48億8,713万円

佐世保市の令和6年度一般会計決算を、1年間の支出が500万円の「させばさんちの家計簿」に例えました。

させばさんちの家計簿（1ヶ月あたり） 令和6年4月～令和7年3月の月平均家計

収入		
(5年度からの増減)		
現金収入	381,200円	4,900円
給料（基本給）	95,400円	△700円
給料（諸手当）	122,300円	10,500円
パート収入	36,500円	△2,200円
祖父母からの仕送り	127,000円	△2,700円
ローン（借入金）	15,100円	△4,300円
貯金の取り崩し	17,700円	-
繰越金	14,000円	△3,000円
収入合計	428,000円	△2,400円
内訳	自由に使えるお金	215,100円 9,800円
	使い道が決まっているお金	212,900円 △12,200円
貯金残高	819,000円	28,000円

支出		
(5年度からの増減)		
生活費計	296,500円	23,100円
食費	59,200円	2,300円
医療費	122,800円	17,500円
光熱水費など雑費	73,400円	2,300円
車などの修理代	1,700円	△600円
教育費	39,400円	1,600円
新型コロナウイルス対策	0円	△18,900円
子どもへの仕送り	25,400円	1,000円
ローンの返済	32,300円	△500円
家や庭の建築・改修	36,300円	△4,700円
貸付など	8,700円	△100円
貯金	17,500円	100円
支出合計	416,700円	0円
ローン残高	3,400,000円	△140,000円

給料（市税）などの自由に使えるお金（一般財源）が 9,800 円増えて、おじいちゃんおばあちゃんからの援助（国庫県費）などの、使いみちが決まっているお金（特定財源）は 12,200 円減ったよ。自由に使えるお金は増えたけど、約 5 割は使いみちが決まっているお金だから、今後も家計のやりくりが大変だね。



家の改修計画（公共施設等総合管理計画）をつくったから、計画的に、修理をしていこう。



家（施設）や庭（道路）をつくるときは、ローン（借入金）もしてるよ。これは、何十年も使う施設の建設費用を、後の世代の人たちにも負担してもらうという意味もあるよ。



させばさんち



お母さん
働きながら家計のやりくりをしている



おとうと
小学校に通っている



わたし
大学生で寮生活をしている



お父さん
休日は子どもとキャッチボールをしている



おばあちゃん
健康のことを考えて散歩をしている



おじいちゃん
家や庭の改修など大きな出費の一部を援助してくれる